

医師・看護師・介護職員の大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 128 号
2011 年 5 月 10 日
日本医労連増員闘争本部
TEL: 03-3875-5871
FAX: 03-3875-6270

ナースウェーブその2

茨城

5月8日「2011ナースウェーブ in いばらき」が開催され、高校生 20 名、大学生 2 名を含め 64 名が参加しました。NHK水戸放送局が取材し、夕方の関東地方のニュースで配信されました。



NHKニュースより
震災の医療現場 看護師が報告
茨城県内の病院に勤務する看護師が集まり、震災での医療現場の状況を報告する集会在水戸市で開かれ、震災に備えたマニュアル作りを一層進める必要があるという意見が相次ぎました。
この集会は、震災の経験を共有し今後備えようと、看護師などをつくる労働組合が中心となって開いたもので、茨城県内の病院に勤務する看護師を中心に60人あまりが集まりました。
日本医療労働組合連合会の田中千恵子中央執行委員長が、看護師が病院のベッドで寝泊まりしながら24時間体制で勤務した、震災直後の東北の状況を報告し、今も医師や看護師が不足している現状を訴えました。
この後、看護師たちから、▼透析のための機器が壊れ、患者の受け入れ先の確保に苦勞したことや、▼倒壊の危険があるため、病院への立ち入りが禁止され、仮設のテントで診療を行った経験などが報告されました。
このほか、▼震災に備えたマニュアル作りを一層進める必要があるという意見が相次ぎました。
そして最後に、今回のような事態に混乱なく対応するためには、今以上に医師や看護師を増やし、地域医療体制の充実を図るべきだとする宣言が採択されました。

